

心情と表現を読み取ろう

心情を読む

問1 短歌を読んで答えなさい。

「秋の夜に／机の上に／手紙置く／返事を待って／時計見つめる」。話者は何を待っていますか。

解答 返事

補足：第四句の「返事を待って」から分かります。「手紙の返事」も可とします。

問2 話者の気持ちとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「秋の夜に／机の上に／手紙置く／返事を待って／時計見つめる」。話者の気持ちはどれですか。

- ア 返事を待つことを忘れている
- イ 返事が気になり落ち着かない
- ウ 返事が来ないことを喜んでいる

解答 イ

補足：返事を待ちながら時計を見つめている様子から、気になって落ち着かない心情が読み取れます。

問3 七音で抜き出しなさい。

「秋の夜に／机の上に／手紙置く／返事を待って／時計見つめる」。話者が時間を気にしながら返事を待っていることが分かる部分を、七音で抜き出しなさい。

解答 時計見つめる

補足：時計を見つめる行動から、時間を気にしながら返事を待っている様子が分かります。

表現を読む

問4 表現技法の名前を答えなさい。

「朝の空／雲が手を振る／坂の上／今日はいいこと／ありそうな気が」の「雲が手を振る」には、雲を人のように表す何という表現技法が使われていますか。

解答 擬人法

補足：人ではない雲に「手を振る」という人の動作をさせているので擬人法です。

問5 表現の効果として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「朝の空／雲が手を振る／坂の上／今日はいいこと／ありそうな気が」の「雲が手を振る」という表現には、どのような効果がありますか。

- ア 雲が親しげに感じられ、明るい気分を表す
- イ 雲がこわく感じられ、不安を表す
- ウ 雲の形を正確に説明する

解答 ア

補足：雲が自分に手を振っているように表すことで、親しみや明るい期待が感じられます。

問6 話者の心情を答えなさい。

「朝の空／雲が手を振る／坂の上／今日はいいこと／ありそうな気が」。この短歌から読み取れる話者の心情を簡潔に答えなさい。

解答 よいことが起こりそうだという期待

補足：「今日はいいこと」「ありそうな気が」から、明るい期待が読み取れます。「わくわくした気持ち」など同じ内容なら可とします。

表現と心情をつなぐ

問7 何を何にたとえているか答えなさい。

「赤い傘／花のようだね／雨の道／並んで歩く／君とわたしで」。第二句では、何を何にたとえていますか。

解答 赤い傘を花にたとえている

補足：「ようだ」という言葉を使って、赤い傘を花にたとえています。

問8 表現の効果として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「赤い傘／花のようだね／雨の道／並んで歩く／君とわたしで」。赤い傘を花にたとえることで、どのような印象が生まれていますか。

- ア 雨の日の景色が明るく華やかに感じられる
- イ 傘が重くて歩きにくいことが強調される
- ウ 雨が激しく危険なことが伝わる

解答 ア

補足：赤い傘を花にたとえることで、雨の日の景色を明るく華やかに感じさせています。